

令和5年度第10回沼田市教育委員会会議録

1 期日

令和6年1月19日（金）

2 場所

テラス沼田庁議室

3 出席者

竹之内篤教育長、中村春夫委員、永井和恵委員、武藤英子委員、長谷川清委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

北澤昇教育部長、角田紀男教育総務課長、林武史学校教育課長、小野利明生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、生方純也スポーツ振興課長、栞原満博教育総務課長補佐

5 開会宣言（午前9時30分）

6 会議録の承認

7 日程第1 会期の決定

会期は、1月19日の一日と決定

8 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が中村春夫委員を指名

9 日程第3 教育長報告

（教育長）

学校は、冬季休業中の大きな事故等もなく、順調に三学期のスタートを切ることができ、令和5年度も残り2か月半になった。各課においては、今年度の仕上げと、次年度の一層の充実に向けて、構想を練ったり準備を進めたりしているところだが、教育委員の皆さんには、引き続き指導助言をお願いしたい。

まず、1月12日に行われた「沼田市いじめ防止子ども会議」は、昨年度に引き続きオンラインで各学校をつないで実施した。いじめ防止は重要な課題であると考えている。子供たちの様子を見てみると、オンライン上でスムーズに話し合いを進めていて、一人一台端末を普通に使いこなせるようになってきた安心感とともに、情報モラル教育やネット犯罪等に巻き込まれないため

の指導の徹底の重要性を再認識した。

次に、1月の定例校長会の指示伝達事項について報告したい。

- 12月議会の一般質問で、特に学校にお願いすることについて
 - ・「コミュニティスクール」と「ぬまた未来創造学」の推進について
 - ・学校再編アンケートの実施と意見収集について
- 生徒指導の充実について
 - ・いじめへの対応について
 - ・登下校等の安全確保について
- 人事管理について
 - ・人事に関する情報の迅速な連絡について
 - ・学校におけるリスクマネジメントと危機管理について

(中村委員)

元日の能登半島地震に心を痛めている。出席した二十歳を祝う会では、市長も言葉を詰まらせており、実行委員が募金の目的を急きょ能登半島地震に変更し、会場内で募金活動を行っていた。参加者のこれからの人生において、こういった取組が役に立てばいいと感じた。

いじめ防止子ども会議では、子供たちが落ち着いて取り組んでいた。こういった活動をフル活用し、いじめがないようにしてもらいたい。

(永井委員)

二十歳を祝う会に出席した。アトラクションについて、一部の親世代から騒がしすぎるといった意見もあったが、私自身は、やりたいことをやるべきだという強いメッセージを感じたので、とても良かったと思った。

(武藤委員)

二十歳を祝う会のロックバンドの演奏について、私は良かったと思った。若い世代は違和感なく受け入れていると思う。また、古文書講座に参加させてもらったところ、利根沼田にも多くの古文書が残っていると知った。これらの知識が広がれば、地元にも愛着が湧くと思った。

(長谷川委員)

二十歳を祝う会は、運営側に仲間がいることで、スムーズに行われて良かったと思った。荒れた成人式の報道もあったので心配していたが、大変良かったと思う。また、PTAの関係だが、升形小学校のPTA役員について、他校の任期が2年のところ、升形小学校は1年のため、いきなり会長を依頼されて役員が決まりづらい現状がある。規約等があれば参考にしたい。任期が2年であれば、会長の前年に副会長をやることによって、安心して会長に就任できると思う。

(生涯学習課長)

PTAの規約に関しては、情報を集めて後ほど提供したい。

(教育部長)

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の状況について報告する。昨日の状況で、市内の小学校でインフルエンザの症状と発熱症状の児童が多いと

ということで、1クラスが本日学級閉鎖となっている。そのほかの学校について、学級閉鎖等はない状況である。利根沼田地区のインフルエンザ、新型コロナともに発症者数が、県内平均よりも若干多いが、先週から見ると少しずつ下がり始めている。引き続き、感染対策に努めてまいりたい。

・次回開催日

次回開催を、令和6年2月20日（火）午前10時30分から予定
令和6年2月20日（火）午前9時30分から、総合教育会議を予定

（教育総務課長）

- ・学校再編に関するアンケートの実施結果について
- ・2月の主な行事予定について
- ・令和6年度教育委員会開催年間スケジュールについて

（中村委員）

アンケート結果をみると、前回と状況が少し変わってきていると思う。比較的人数が多い小中学校は、どうなのか。小中一貫校を選択したのは、生徒数が少ない学校なのか。

（教育総務課長）

学校区ごとの集計結果は現在集計中だが、学校によって異なる状況である。大半は、統廃合は必要ではないとする意見が多いが、小規模な学校ではそれと全く異なる結果となっている。次回の教育委員会でお示ししたい。

（永井委員）

揺れる心が表れていると思った。小規模な学校であっても、今の学校に満足しているのかもしれない。地元の若い保護者は、人数が少ない学校はかわいそうなので、住所を移して小規模でない学校へ通わせようとする保護者もあり、難しい問題だと思う。

（武藤委員）

今までどおりが楽だから統廃合は必要ではないと回答しているのか、どういう理由で必要ではないと回答しているのか分からない。これだけ子供の数が減っている状況では、統廃合はやむを得ないと思う。統廃合のやり方は、先進事例や成功例がたくさんあると思う。それらを参考にすれば、保護者が納得できる方策等が見つかると思う。時代が大きく変わっているので、変わらざるを得ないと思う。

（教育長）

出生者数のデータで、今後6年までの推計はできるが、その6年の間でも、地域によっては急激に子供の数が減ってくる地域もある。保護者の方々は、今の学校や現状を見て回答してもらっていると思うが、今後の状況等のデータについても、皆さんにご理解いただくような方法を検討する必要があると思う。

（長谷川委員）

少子化が進んでいる中、また、昨年の利根沼田の出生数が180人程度と聞き、やむを得ないのかなと思う。

（学校教育課長）

- ・第2回学校経営ヒアリング（教育委員会訪問）について

- ・沼田市教育研究所事業（修了式及び成果発表会）について
- ・沼田市立中学校部活動「地域展開」リーフレットについて
- ・小中学校卒業式における教育委員会告辞について

（生涯学習課長）

- ・令和6年沼田市二十歳を祝う会実施結果について
- ・社会教育功労者等表彰式及び生涯学習講演会について
- ・おのちゅうこう「ふるさと文学賞」表彰式について

（文化財保護課長）

- ・歴史資料館第22回企画展「久米民之助の軌跡」の結果について
- ・歴史資料館中高生による企画展「地形と歴史が織りなす沼田物語～段丘の上を生きる人々～」について
- ・歴史資料館特別講演会「沼田の歴史を未来につなぐ」について
- ・埋蔵文化財調査センター施設及び収蔵資料見学会について

（スポーツ振興課長）

- ・第61回群馬県都市対抗テニス大会について
- ・第70回沼田市民スキー大会について
- ・第26回ぬまた駅伝大会について

10 日程第4 議案第15号 令和5年度沼田市小中学生学芸文化優秀表彰について

当該年度、学芸文化関係において顕著な成績を収めた沼田市内の小中学生の活躍を賞賛するとともに、当該児童生徒の更なる活躍を期して表彰する者について議決を求めるもの

学校教育課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

11 閉会宣言（午前10時09分）